



口大野地域づくり計画書

ダイジェスト版

平成23年3月策定

★計画書策定の趣旨

平成の市町村合併は、経済成長が鈍化する中で行政基盤の確立が図られ、地方公共団体は、今まで以上に自己決定や責任が求められています。

地区人口約2,400名（900世帯）を抱える当地区の地区行政や区民要求も多様化するなかで、区民が自ら考え行動し負担することで自分たちの地区を守り、つくることが重要であるとの考えを基に、従来の地区行政を踏襲しつつ行政主導型から地区自らが決定し行う地区行政へと方向変換が必要な時になりました。

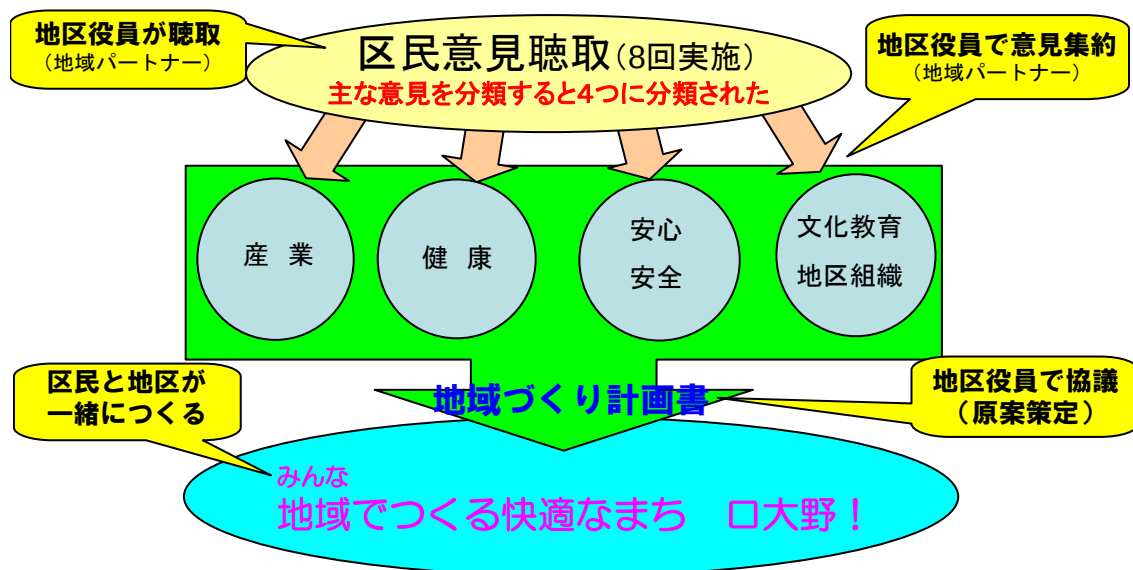
地区役員で地域自治の新しい時代づくりについて協議した結果、区民から地区の現状や課題を聞き取り、地区固有資源を活用しながら課題解決のために区民と一緒に実施する事業などを整理し、地域づくり計画の策定に取り組むことといたしました。

★計画書の構成

本計画書は、第1章に計画作成趣旨と地域概要、第2章に地域づくりの基本理念と目標、第3章に地域づくりのための4つの基本的な主要施策、参考資料として計画策定のための活動報告や区民意見、区規約などで構成しています。

★基本計画

本計画書は、区民のための地区行政活動の指針となるべきもので、今後地区がどのような地域づくりを目指し進めていくかについて、区民の声を反映しながらさまざまな観点で地区を見つめ直し、具体的な地域づくりについて事業計画に盛り込み地区の更なる発展と地域住民福祉の一層の向上を図るためのものです。



★口大野地域づくり計画策定経過

- ・H22.4 地域づくり計画策定着手
- ・H22.4～H23.1 地区住民意見聞取
- ・H23.2 原案策定会議
- ・H23.3 計画承認（地区役員会）
- ・H23.4 施行予定



★口大野地域づくりスローガン

みんな
地域でつくる快適なまち 口大野！

★口大野地域づくり計画

①産業「地域資源を活かした地域づくり」

当地区は、農業を基盤に丹後ちりめんの製造やサービス業などを基幹産業として、旧大宮町において商工業の中心地区として産業振興の発展に寄与してきました。

これからも生活の基盤となる産業振興を図り当地区へ安心して住み続けるためにも、新たな地区産業の起業、地域伝統産業への支援強化、農業基盤を活用した地域づくり、情報化社会に対応した定住化促進など当地区における地域資源を活用した地域づくりを目指します。

★産業振興 ★農業振興



②健康「支え助け合う生き活きた地域づくり」

区民の誰もが健康で生き活きた生活が出来ることを望んでいますが、他地区と同様に当地区の少子高齢化も進んでおり、地域ぐるみで行う相互扶助の精神が必要となっています。

区民が健康で子どもからお年寄りまで安心して暮らし続ける地区にするため、公民館や地区内各組織などと一緒に、地区内施設の有効活用を検討しながら全世代が支え合い、健康づくりや区民が助け合う地域づくりを目指します。

★健康づくり ★高齢者・児童福祉



③安心安全「安心安全で快適な地域づくり」

区民の誰もが安心安全で快適に暮らせる生活環境を望んでいますが、少ない区予算では、年々高まる区民ニーズや生活環境や地域環境などの基盤整備事業に十分応えることが難しい状況となっています。

このため、区民自らが行う公園や河川などの環境整備活動のほか、防犯灯、カーブミラー、道路・側溝、下水道、消防防災施設などの生活環境基盤の強化について、計画的に行政へ要望しながら安心安全で快適な地域づくりを目指します。

★地域環境整備

★生活環境整備

★地域防災・地域防犯



④文化教育と組織「歴史・文化・教育と地区行政の充実した地域づくり」

スムーズな地区行政を行い町内格差を是正するため、隣組や地区行政組織の見直しを検討するほか、地区と家庭が一体となって青少年の健全化を図るとともに祭のあり方も検討しながら、先人が築き守ってきた歴史文化や地域芸能を後世に継承する世代間交流事業に取り組み、歴史・文化・教育、地区行政の充実した地域づくりを目指します。

★青少年健全育成

★生涯学習



★文化財・地域芸能・文化活動の継承と保存

★口大野地区組織強化



★地域事業計画

①平成23年度地区要望事業計画（継続事業含む）

要望箇所	事業内容	要望箇所	事業内容
鈎鉾町内市道片町線	水路の暗渠化と道路拡幅	明治町内三本木水路	水路改良
高砂町内市道沖田1号線	国道312号線までの延伸	高砂明治町内家下水路	水路改良
昭和町内市道上河原線	拡幅改良(側溝改良)	明治町内家下水路	水路改良
昭和町内鯨交差点	踏切と交差点改良	明治町内大野新田水路	水路改良(土居卓付近)
明治町内谷川余部下流部	河川改修	明治町内屋台蔵付近	防災倉庫新設
万歳町内旭ヶ丘周辺	急傾斜崩壊対策事業	昭和町内竹野川堤防道路	防犯灯新設
昭和・高砂町内水路	沖田水路(溢水対策)	口大野大道筋(本通り)	追越禁止区域新設

②平成24年度以降地区要望事業計画

地区住民からの意見を聴取し、「産業、健康、安心安全、文化教育と地区組織」の4つの柱に対する現状と課題を見つめ、課題解決のために必要な取り組みや施策を地区役員で検討しました。

平成23年度地区要望は既に提出済みであるため、平成24年度からの事業実施要望は、意見聴取にあった地区住民ニーズが高く緊急性のあるものから地区役員で順序を定め行政に実施要望するほか、区民と一緒に実施可能な事業については早急に実施することとします。

また、祭運営や地区行事のほか隣組再編などの地区組織の見直しについては、町内会の実態調査を踏まえ各町内会からの見直し案などを参考にしながら、地区役員で実現に向けて協議することとします。

